

熊本地震からの復旧・復興を 加速し、強力に推進します



平成30年7月に供用を再開した桑鶴大橋



4000tの上部構造をジャッキアップして復旧工事中の大切畑大橋



法面対策と増杭を実施している俵山大橋



国土交通省

国土技術政策総合研究所

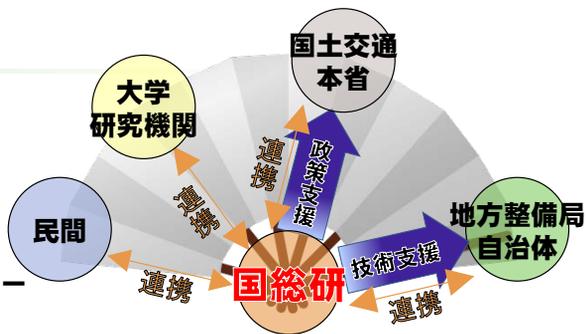
社会資本マネジメント研究センター

熊本地震復旧対策研究室

国総研（国土技術政策総合研究所）

○国総研は、国土交通省における組織の一つで、住宅・社会資本分野で唯一の国の研究機関です。

- 役割**
- ① 研究、技術基準等の作成
 - ② 災害対応の支援
 - ③ 技術相談・技術移転
 - ④ 研究のコーディネーター



○熊本地震の復旧・復興事業をより加速化させるため、国総研で初めて災害復旧現場に「熊本地震復旧対策研究室」を平成29年4月に設置しました。

熊本地震復旧対策研究室の活動

○つくばの国総研・土木研究所の研究部とも連携し、熊本復興事務所と車の両輪となって、早期復興に向けて取り組んでいます。

<ミッション①>

災害復旧の高度技術支援



施工中に判明した技術的課題に対して迅速に助言



復旧後の維持管理に資するデータを取得（橋の振動特性の計測）



地盤変状が橋の性能に及ぼす影響を最小化するための技術的な配慮や工夫を助言



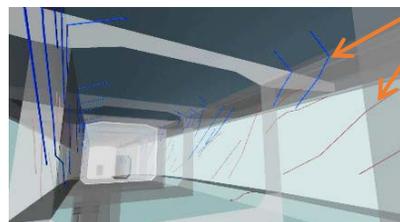
熊本県等の復旧事業にも技術支援を実施



県・市町村職員等に復旧対策に関する技術情報を発信

<ミッション②>

被災経験を踏まえた研究開発



PC箱桁の耐力評価において重要である地震で生じたひび割れ位置を3次元モデル化

箱桁内部のひび割れ
箱桁外部のひび割れ

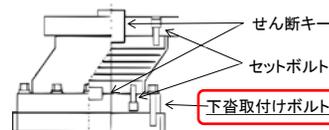
復旧後の再来地震による影響で補修した桁の耐力が低下することが懸念

復旧工事の過程で得られる情報から将来の耐力評価に有用な情報を選定するとともに、それらの相互関係がわかるように3次元モデル上で記録・保存



上部取付部の破壊に伴い鋼桁が橋座に脱落して変形

下部取付部で破壊させて段差と主桁への影響を最小化



橋の性能に及ぼす影響を最小化する破壊のマネジメント技術

〔大きな地盤変状に対する技術的対応〕

〔復旧した橋の維持管理に必要な情報の〕
BIM/CIMIによる記録・保存に関する検討

アクセス

○熊本地震復旧対策研究室

〒869-1404

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽3574

TEL:0967-67-2039

○国土技術政策総合研究所(つくば)

〒305-0804

茨城県つくば市旭1番地



庁舎外観

ホームページ

<http://www.nilim.go.jp/lab/pgg/index.htm>